

「医療」

日本において行うことができる活動内容等

医師、歯科医師その他法律上資格を有する者が行うこととされている医療に係る業務に従事する活動。該当例としては、医師、歯科医師、看護師など。

提出資料

	カテゴリー 1	カテゴリー 2
区分 (申請人)	医師・歯科医師	医師・歯科医師以外の者
	[共通]	
	1 在留資格変更許可申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 通 * 地方入国管理官署において、用紙を用意しています。また、法務省のホームページから取得することもできます。	
	2 パスポート及び外国人登録証明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 提示	
	3 申請人が医師又は歯科医師の日本の資格を有することを証明する文書 (免状又は証明書等の写し)・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 通	3 申請人が次のいずれかの日本の資格を有することを証明する文書 (免状又は証明書等の写し)・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 通 ①薬剤師 ②保健師 ③助産師 ④看護師 ⑤准看護師 ⑥歯科衛生士 ⑦診断放射線技師 ⑧理学療法士 ⑨作業療法士 ⑩視能訓練士 ⑪臨床工学技士 ⑫義肢装具士
		4 勤務する機関の概要（病院、診療所等設立に許可を受けることを要する機関の場合は、当該許可を受けた年月日を明示したもの）を明らかにする資料・・・・・・・・ 1 通

* 申請人とは、日本への在留を希望している外国人の方のことで。

* 日本で発行される証明書は全て、発行日から3ヶ月以内のものを提出してください。

** 身分を証する文書（申請取次者証明書、戸籍謄本等）・・・・・・・・ 提示

* 上記については、申請人本人以外の方（申請が提出できる方については、<http://www.moj.go.jp/ONLINE/IMMIGRATION/16-2.html>を参照して下さい。）が申請を提出する場合において、申請を提出することができる方がどうか確認させていただくために必要となるものです。また、申請人以外の方が申請を提出する場合は、上記2の「申請人のパスポート及び外国人登録証明書の提示」に代わって、「申請人のパスポート及び外国人登録原票記載事項証明書（又は外国人登録証明書の両面写し）の提出」をお願いいたします。

*****このほか、申請いただいた後に、当局における審査の過程において、上記以外の資料を求める場合もありますので、あらかじめ、ご承知おき願います。*****

留意事項

- 1 在留資格変更許可申請に関する手続等の案内については、入国管理局ホームページ（<http://www.immi-moj.go.jp/tetuduki/index.html>）の「各種手続案内」をご覧ください。
- 2 提出資料が外国語で作成されている場合には、訳文（日本語）を添付して下さい。
- 3 原則として、提出された資料を返却できませんので、再度入手することが困難な資料の原本等の返却を希望する場合は、申請時に申し出て下さい。
- 4 活動内容を変更し、他の在留資格に該当する活動を行おうとする場合は、速やかに申請して下さい。継続して3か月以上、現に有している在留資格に係る活動を行っていない場合は、在留資格の取消しの対象となります。